

やよい ~弥生時代のくらし~

年 組 名 前

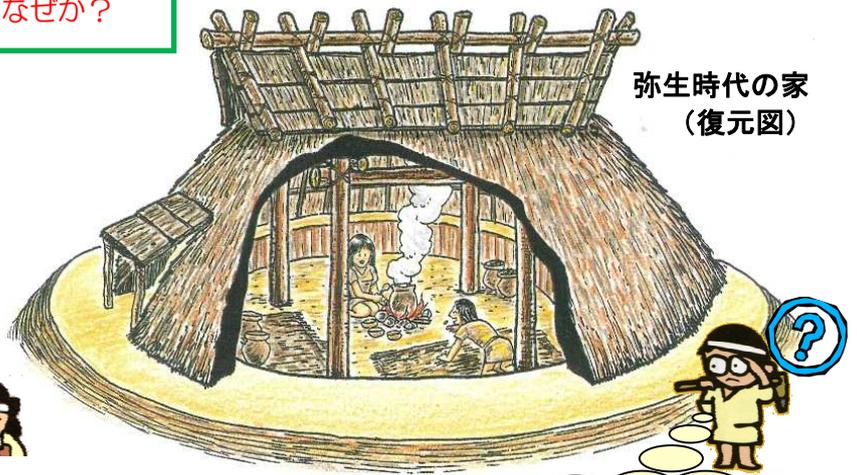
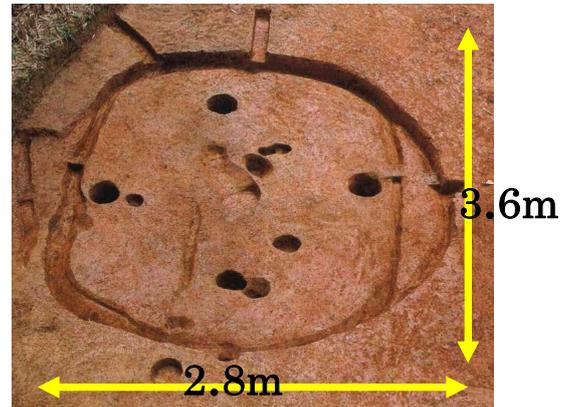
弥生時代になると、人々は米作りをおこなうようになります。発掘調査で見つかった家のあとや米作りなどに使う道具を見てみましょう。

challenge!

① 右の写真は弥生時代の家のあとです。
その下の絵は弥生時代の家を復元したものです。
私たちが住んでいる家と、どんなところが違うか考えてみましょう。

- 地面を掘っている。
- 4本の柱で支えている。
- 周りを藁で囲っている。
- 真ん中で火を焚いている。
- 土の上にごさを敷いている。
- 照明がない。
- 家具がほとんどない。
- 土器がある。
- 写真の家の跡に穴がたくさんあるのはなぜか？

弥生時代の家のあと(東船遺跡)



弥生時代の家
(復元図)



東船遺跡は隠岐の島町にあるよ。

② 下の写真は弥生時代の米作りなどに使われた道具です。
どんなことに使ったのか考えてみましょう。

- 木や石の道具だね。
- 今の道具とにている物もあるよ。



• 稲の穂を摘み取るのに使った。



• スコップのような形だから、土を掘って、田を耕すのに使った。



• 田に入る時に足がはまらないようにするための履き物。

③ 弥生時代のくらしについて、さらによく調べてみましょう。